

令和8年度

方上小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

考え、表現する場を大切に授業づくり
～教職員全員によるポジティブな行動支援を軸として～

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題には取り組むことができる。 ●基礎的・基本的な知識・技能の定着が十分にできていない児童が多い。 ●長い文章を読み取ることに課題がある。	・学年配当の漢字の読み書きや計算が正確にできる。 ・継続的に読書をする事ができる。 ・既習の知識を日常生活の場面で、活用することができる。 ・自分の考えを、授業の中で発表することができる。	・タブレットや自主学習ノートを活用し、自主的に課題に取り組むことができるようにする。 ・読書の時間を確保する。 ・児童が興味をもって学習に取り組むことができるように教材や発問を工夫する。 ・互いを認め合い、発表しやすい雰囲気作りをする。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達の意見を聞き、自分の考えをもつことができる児童が多い。 ●自分の考えに自信をもてず、自分の言葉で発表することが苦手な児童が多い。	・友達の意見をしっかり聞き、自分の意見との違いに気付いたり、参考にしたりすることができる。 ・身に付けた知識・技能を生かしながら、考えをまとめたり、整理したりすることを通して、自分の言葉で、考えを伝え合うことができる。	・聞き方ナビ、話し方ナビ、発表ナビを作成し、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることができるようにする。 ・学校全体で読書活動の推進を図る。 ・ペアやグループで交流する機会を増やすことで、自分の考えに自信をもち、自分の言葉で発表することができるように支援する。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○いわれたことに対して真面目に取り組むことができる。 ●自ら考えて、粘り強く学習に取り組むことや、自分の考えをまとめたり、発表したりすることに課題がある。	・学ぶ楽しさ、理解できた喜びを受け止め、各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるように計画を立て、実践することができる。 ・家庭学習に意欲的に取り組むことができる。	・毎時間のめあてを明確にし、振り返りを行う。 ・児童の実態に応じて、課題に主体的に取り組めるよう、ワークシートやタブレットを活用し、児童の思考の過程や学習の振り返りが残るようにする。 ・家庭学習の目的や方法を具体的に指導し、計画を立てて、目標を達成できているか振り返りを行う。			